



# 古 考える葦



下野市立古山小学校  
校長室インフォメーション  
平成30年度 NO. 4  
平成30年7月17日  
発行責任者 梶原 和子



## もうすぐ楽しい夏休みです！みなさん、計画は立てましたか？

夏休みも近くなり、日差しも日増しに強さを増してきました。皆さんはもう、夏休みの計画は立てられましたか？40日以上ある長い休みです。どうぞ有意義にお過ごしください。

私は、毎年山登りの計画を立て信州方面に行くのですが、ここ数年大雨か台風で全滅でした。今年も懲りずに山に行く計画を立てていますが、さて、どうなるでしょうか。地球温暖化の影響か、このところ台風も大型化し、大挙して日本列島に襲いかかって来るようになってしまいましたね。大地震や火山の噴火も心配です。山では熊もたくさん出るようになってしまいました（下野市は鹿、猿、猪ですね！）。日本中、危険なところだらけになってしまいました。

なんだか、暗い話になってしまいましたが、それでもやっぱり楽しい夏休みです。たくさん楽しい思い出を作ってくださいね。9月3日には、日焼けした元気な顔に会えるのを心待ちにしています。

さて、毎年第4、5学年「とちぎっ子学習状況調査」、第6学年対象に実施されている「全国学力学習状況調査」の本校の結果につきましては、県の発表を待ってからお知らせいたします。今少しお待ちください。ただ、夏休みは学習においても大切なときです。計画的な家庭学習が学年後半の伸びに大きく影響します。理解が不十分だった内容の復習はもちろんですが、この機会に予習もしっかり行い、9月からの学習に備えるといいでしょう。また、猛暑で外遊びがはばかれるときには、ぜひ、読書をすることを勧めます。たくさん本を読んで、心にも栄養をつけましょう。

## 備えあれば憂い無しです！「水辺の安全教室」を行いました！！

7月9日（月）に6年生を対象として、B&G財団公認の指導員資格を持つ指導員の方をお招きして、水難事故に遭遇した際に命を守るための授業を行いました。

内容は着衣水泳を基本とした「バディシステム 背浮き、潜水時の対応、ライフジャケット浮遊体験、溺者発見時の対応」などです。ほとんどの児童は、衣服を身に着けたまま水に入ったことなどないので、衣服を身に付けたまま水に入ると、とても体が重くなることを実感すると共に、びっくりし、みんな真剣に活動していました。身近な物（ペットボトル等）でも浮くことができたり、靴は浮きやすいので脱がないこと等教えていただいたりするなど、とても有意義な1時間でした。この様子は、10日（火）の下野新聞にも掲載されました。



## お子さんの体力は大丈夫ですか？

栃木県の子どもの重要課題として、体力の向上が掲げられていることをご存じですか？本校も、県と同様に体力向上が学力と同じくらい重要な課題となっています。

さて、今年度の新体力テストの結果から様々な課題が見えてきました。課題はたくさんありましたが、特に私が注目したことは、体が硬い子が多いということです。体が硬いと疲れやすくなったり、血行が悪くなったり、姿勢が悪くなったりします。疲れやすいということは、運動不足を意味しています。運動不足は体力低下につながります。健康で丈夫な体が心も頭も育てます。体育の授業だけでなく、日頃からこまめに動くことを心がける、外で元気に遊ぶなどして、体づくりをしましょう。



## 石橋中学校の生徒が職場体験にやってきました！

6月11日（月）～13日（水）の3日間、石橋中学校から2年生6名が本校で職場体験をするためにやってきました。いずれも本校の卒業生です。中学生たちはそれぞれ担当の学年が割り当てられ、3日間児童とともに学び、一緒に遊び楽しく過ごしました。みんな、「中学校より楽しかった。」「自分たちも、少し前まではこんな感じだったのかな。」などの感想を持ったようです。1年生の教室で過ごした生徒は、「1年生ってこんなに目が離せないなんて・・・先生も大変ですね。」と話していました。最後は、みんな「古山小学校に来られてよかった。ここで学んだことを生かしたい。もっと勉強して、先生になれるよう頑張りたい。」と、話してくれました。中学校に戻ったらしっかり勉強して、いつか先生になって戻って来てくださいね。



## 緑タイム始動！！

6月13日から、「緑タイム」が始まりました。業間等を使って、除草作業や栽培活動を行うものです。自分たちの手で日頃お世話になっている学校をきれいにしたり、生活環境を整えたりすることはとても大切なことだと思います。また、植物の栽培を通して生命に対しての責任をもつということも学べます。10月までしっかり行いたいと思います。



## 大丈夫ですか！！

6月19日の下野新聞に、「ゲーム障害」についての記事が載っていました。オンラインゲームのやりすぎやテレビゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる症状を「ゲーム障害」として、新たな疾病に認定、依存症の一つとして「国際疾病分類」に加えられたとのことです。ゲームをしている人の2～3%がゲーム障害とみられるとの見解もあるようです。「ゲーム障害」になると、ゲームをしたい衝動が抑えられなくなり、日常生活よりゲームを優先し、健康を損ねてしまってもやめられないのだそうです。こうなると、勉強どころではなくなってしまいますね。大変恐いことです。私もゲームは好きなほうなので、節度を忘れないよう注意したいと思います。

本校でも、児童のスマートフォン、ゲーム機等の所持状況について調査してみましたが、90%以上の児童が何らかの物を持っているようです。ご家庭でも、ゲーム機使用のルールを決めるなどしてこのようなことにならないよう、ご注意いただくと幸いです。

※ 児童の活動の様子や学校行事等については、学校ホームページに掲載していますのでぜひご覧下さい。  
学校HPアドレス [http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e\\_school/koyama/](http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e_school/koyama/)

こちらからもご覧になれます



